

災害対策調査特別委員会請求資料 土のうステーション・止水板について

1 土のうステーションについて

(1) 事業概要

地域の自助・共助を推進し、住民の自主的な浸水対策の一つとして、家屋への浸水被害の防止・軽減のため、適時使用できる土のう100袋を収納した「土のうステーション」を浸水予想される場所に配置している。

(2) 配備状況（平成22年度～）

- ①区内の道路・公園・公共施設等 63箇所
（各5kg 30袋、10kg 70袋）
- ②使用実績 1,370袋（平成30年度）

(3) 点検・補充

年1～2回及び台風、豪雨後の随時



2 止水板設置工事助成について

(1) 止水板

豪雨時に建物などへの水の浸入防止するために出入り口など設置する板（右写真参照）

(2) 助成制度（平成24年度～）

止水板の設置及びこれに伴う関連工事を行う場合に、工事等に要した費用の2分の1以内で、1つの建物について50万円を限度に助成している。

(3) 助成実績

制度制定の平成24年（2012年）から14件を助成。



土のうステーション設置案内図

令和元年6月現在

● 設置箇所

